



## 2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月9日

上場会社名 株式会社天満屋ストア 上場取引所 東  
 コード番号 9846 URL <https://www.tenmaya-store.co.jp>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）野口 重明  
 問合せ先責任者（役職名）取締役執行役員管理本部長（氏名）國府 慎一郎（TEL）086-232-7265  
 半期報告書提出予定日 2024年10月11日 配当支払開始予定日 2024年11月7日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	29,400	0.9	1,195	24.9	1,287	31.0	836	43.8
2024年2月期中間期	29,127	3.4	956	△20.2	983	△19.6	581	△23.2

（注）包括利益 2025年2月期中間期 894百万円（46.2%） 2024年2月期中間期 611百万円（△21.4%）

	1株当たり中間純利益		潜在株式調整後1株当たり中間純利益	
	円	銭	円	銭
2025年2月期中間期	72	80	—	—
2024年2月期中間期	50	49	—	—

## （2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	43,303	—	25,684	—	—	59.2
2024年2月期	42,752	—	24,849	—	—	58.0

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 25,646百万円 2024年2月期 24,812百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
	—	5.00	—	5.00	10.00
2025年2月期	—	7.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	7.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	58,700	0.2	2,400	5.4	2,500	4.7	1,200	0.6	104	49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4)中間連結財務諸表に関する注記事項「(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年2月期中間期	11,550,000株	2024年2月期	11,550,000株
2025年2月期中間期	66,731株	2024年2月期	66,731株
2025年2月期中間期	11,483,269株	2024年2月期中間期	11,509,719株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書	
中間連結包括利益計算書	
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 当中間期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善され、賃金上昇等による個人消費マインドの高まりやインバウンド需要の増加などから緩やかな回復基調となりました。しかしながら、エネルギー価格や原材料価格高騰による物価上昇等に加え、地政学上リスクの高まりなどが国内経済に与える影響として懸念され先行き不透明な状況が続いております。また、商品価格の相次ぐ値上げの影響により、消費者の堅実志向、節約志向が根強く残る状況が続いております。

こうしたなか、当社グループは、営業力の強化と収益力の向上に取り組むとともに、危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化及び持続可能社会の実現に注力してまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の営業収益(売上高及び営業収入)は294億円(前年同期比0.9%増)、営業利益は11億95百万円(前年同期比24.9%増)、経常利益は12億87百万円(前年同期比31.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は8億36百万円(前年同期比43.8%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### (小売事業)

小売事業につきましては、原材料価格高騰等による相次ぐ値上げの影響を受けた低価格志向への対応として安さが伝わる分かりやすいEDLP「超得」などによる低価格戦略の強化や「セブンプレミアム」の拡充及び拡販、時間帯別の品揃えの充実に取り組むとともに、利便性向上や生産性向上のためにフルセルフレジを一部店舗に導入いたしました。

さらに、当社創業55周年企画として、食料品・生活用品・衣料品の55周年記念特別商品の拡販や子育て世代のお客様の生活支援に向けた取り組みとして新たな販促策「子育て応援の日」を導入するほか、地元高校や地元企業とタイアップした商品の販売イベントを開催いたしました。

また、有限会社ハッピーバラエティが6月に「移動スーパーとくし丸」の51台目を開業し、見守り活動と買物弱者の支援を通じて地域活性化や地域貢献に取り組んでまいりました。さらに、従来のペットボトル回収機に加え、アルミ缶回収機の設置店舗を拡大することで環境に配慮した取り組みを行い、持続可能社会の実現に努めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の小売事業の営業収益は255億30百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益は10億10百万円(前年同期比17.9%増)となりました。

#### (小売周辺事業)

小売周辺事業につきましては、惣菜等調理食品の製造販売が主なものであり、引き続き徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発の強化や生産性の向上に取り組んでまいりました。また、4月には事業再編として、株式会社三好野本店の高速道路サービスエリア運営事業を株式会社でりかエッセンが承継いたしました。さらに、同月に天満屋ハピータウン児島店において、株式会社でりかエッセンが運営するレストランを新たに「三好野レストラン児島店」及び「三好野珈琲児島店」として改装オープンするなど、グループシナジーの創出に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の小売周辺事業の営業収益は38億69百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益は1億84百万円(前年同期比85.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億51百万円増加し、433億3百万円となりました。これは主に、売掛金の増加などにより流動資産が9億80百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億84百万円減少し、176億18百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少などにより固定負債が11億18百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億35百万円増加し、256億84百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、賃金上昇により所得環境は改善し、個人消費の持ち直しが期待されるものの、エネルギー価格の上昇や物流問題、原材料価格高騰などにより消費者の生活防衛意識の高まりが懸念されます。

当社グループといたしましては、お客様の節約志向への対応としてEDLP「超得」や「セブンプレミアム」の拡充及び拡販のほか、時間帯別品揃えのさらなる強化に取り組んでまいります。また、レジ混雑緩和のためのフルセルフレジ導入店舗拡大を図り、お客様がストレスなくお買物ができる環境整備と利便性向上に努めるとともに、9月に円山店(岡山市中区)を改装するなど既存店舗の活性化を推進してまいります。

さらに、AIを活用したレジシフト自動作成システム導入店舗の拡大や自動発注の精度向上により、生産性向上に取り組んでまいります。また、働き方改革を推進し、従業員が心身ともに生き活きと働ける職場環境の整備に加え、各種研修を通じて環境の変化に対応できる人材の育成に取り組んでまいります。このほかにも、冷蔵ケース照明LED化やアルミ缶回収機設置店舗の拡大など環境に配慮した取り組みや、地域社会との協働による地域の活性化を推進するとともに持続可能社会の実現を目指してまいります。

なお、業績予想につきましては、概ね計画どおり推移しておりますので、2024年7月10日公表の業績予想からの変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	708,293	785,763
売掛金	1,642,227	2,207,396
商品	1,710,478	1,609,708
貯蔵品	23,432	22,931
その他	1,698,796	2,137,770
流動資産合計	5,783,228	6,763,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,460,883	10,155,810
土地	14,343,668	14,412,572
その他(純額)	1,992,693	1,930,954
有形固定資産合計	26,797,245	26,499,337
無形固定資産		
のれん	499,037	477,021
その他	2,463,632	2,455,318
無形固定資産合計	2,962,670	2,932,339
投資その他の資産		
差入保証金	1,632,469	1,573,010
敷金	3,331,501	3,261,968
その他	2,257,325	2,285,222
貸倒引当金	△12,400	△12,200
投資その他の資産合計	7,208,897	7,108,001
固定資産合計	36,968,813	36,539,678
資産合計	42,752,042	43,303,249

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,721,324	3,912,774
電子記録債務	415,939	378,717
短期借入金	4,543,458	3,946,326
未払法人税等	521,945	469,178
賞与引当金	110,779	114,782
資産除去債務	15,125	—
その他	3,245,290	4,586,724
流動負債合計	12,573,862	13,408,503
固定負債		
長期借入金	1,125,799	175,476
役員株式給付引当金	45,803	51,353
利息返還損失引当金	5,697	4,320
退職給付に係る負債	1,277,865	1,187,920
資産除去債務	410,201	413,810
長期預り保証金	65,525	58,080
長期預り敷金	1,684,916	1,673,541
その他	712,636	645,260
固定負債合計	5,328,445	4,209,763
負債合計	17,902,307	17,618,266
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,750	5,347,750
利益剰余金	15,836,880	16,615,188
自己株式	△77,883	△77,883
株主資本合計	24,804,247	25,582,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,537	146,560
退職給付に係る調整累計額	△91,791	△82,406
その他の包括利益累計額合計	8,745	64,154
非支配株主持分	36,740	38,272
純資産合計	24,849,734	25,684,982
負債純資産合計	42,752,042	43,303,249

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	27,530,483	27,752,221
売上原価	19,569,679	19,801,111
売上総利益	7,960,804	7,951,110
営業収入	1,597,056	1,647,982
営業総利益	9,557,861	9,599,092
販売費及び一般管理費	8,601,239	8,404,001
営業利益	956,621	1,195,091
営業外収益		
受取利息	1,362	1,233
受取配当金	40,092	42,369
協賛金収入	5,945	10,088
補助金収入	94	35,333
その他	9,407	25,671
営業外収益合計	56,902	114,694
営業外費用		
支払利息	25,579	18,563
その他	4,875	3,455
営業外費用合計	30,454	22,019
経常利益	983,069	1,287,766
特別利益		
固定資産売却益	—	2,000
特別利益合計	—	2,000
特別損失		
固定資産除却損	50,538	9,176
店舗閉鎖損失	—	36,994
支払補償費	—	9,650
特別損失合計	50,538	55,821
税金等調整前中間純利益	932,531	1,233,945
法人税等	348,507	395,155
中間純利益	584,023	838,789
非支配株主に帰属する中間純利益	2,806	2,731
親会社株主に帰属する中間純利益	581,217	836,057

## 中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	584,023	838,789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,091	46,022
退職給付に係る調整額	16,538	9,385
その他の包括利益合計	27,629	55,408
中間包括利益	611,653	894,197
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	608,846	891,466
非支配株主に係る中間包括利益	2,806	2,731

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	932,531	1,233,945
減価償却費	756,090	732,160
のれん償却額	40,961	22,016
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△600	△200
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,025	4,003
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△18,021	△76,447
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	5,174	5,550
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△2,104	△1,377
受取利息及び受取配当金	△41,455	△43,602
支払利息	25,579	18,563
固定資産売却損益(△は益)	—	△2,000
固定資産除却損	50,538	9,176
売上債権の増減額(△は増加)	△379,016	△565,168
棚卸資産の増減額(△は増加)	99,293	101,270
仕入債務の増減額(△は減少)	749,999	147,405
その他	217,133	997,821
小計	2,440,128	2,583,117
利息及び配当金の受取額	31,659	35,916
利息の支払額	△25,959	△17,460
法人税等の支払額	△238,999	△444,244
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,206,829	2,157,329
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△472,050	△372,465
有形固定資産の売却による収入	—	2,000
無形固定資産の取得による支出	△15,985	△26,903
投資有価証券の取得による支出	△600	△600
資産除去債務の履行による支出	△44,900	△10,258
敷金及び保証金の差入による支出	△7,512	△871
敷金及び保証金の回収による収入	250,535	125,687
預り敷金及び保証金の受入による収入	37,349	4,963
預り敷金及び保証金の返還による支出	△431,266	△63,452
投資活動によるキャッシュ・フロー	△684,430	△341,899

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△900,000	△300,000
長期借入れによる収入	590,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,397,838	△1,247,455
リース債務の返済による支出	△131,732	△131,554
配当金の支払額	△34,648	△57,749
非支配株主への配当金の支払額	△1,200	△1,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,875,418	△1,737,959
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△353,019	77,469
現金及び現金同等物の期首残高	822,016	708,293
現金及び現金同等物の中間期末残高	468,996	785,763

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント(千円)		合計(千円)	調整額(千円)	中間連結 損益計算書 計上額(千 円)(注)1
	小売事業	小売周辺事業			
営業収益 (注)2					
食料品	21,951,682	3,683,159	25,634,841	—	25,634,841
生活用品	495,251	—	495,251	—	495,251
衣料品	1,366,492	—	1,366,492	—	1,366,492
その他	1,549,159	81,795	1,630,954	—	1,630,954
顧客との契約から生じる収益	25,362,585	3,764,954	29,127,540	—	29,127,540
外部顧客への営業収益	25,362,585	3,764,954	29,127,540	—	29,127,540
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	87,350	1,218,816	1,306,166	△ 1,306,166	—
計	25,449,935	4,983,771	30,433,707	△ 1,306,166	29,127,540
セグメント利益	856,843	99,777	956,621	—	956,621

(注) 1 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

## 1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント(千円)		合計(千円)	調整額(千円)	中間連結 損益計算書 計上額(千 円)(注)1
	小売事業	小売周辺事業			
営業収益 (注)2					
食料品	22,198,364	3,793,248	25,991,612	—	25,991,612
生活用品	488,180	—	488,180	—	488,180
衣料品	1,238,047	—	1,238,047	—	1,238,047
その他	407,279	76,725	484,005	—	484,005
顧客との契約から生じる収益	24,331,871	3,869,973	28,201,845	—	28,201,845
その他の収益	1,198,358	—	1,198,358	—	1,198,358
外部顧客への営業収益	25,530,230	3,869,973	29,400,204	—	29,400,204
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	91,711	1,023,651	1,115,362	△ 1,115,362	—
計	25,621,941	4,893,625	30,515,566	△ 1,115,362	29,400,204
セグメント利益	1,010,504	184,586	1,195,091	—	1,195,091

(注) 1 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。